



IPv4 アドレス枯渇に向けて  
オペレーターが取り組むべき解決策  
を一緒に考えよう！

サイバー大学 近藤邦昭

## パネルの趣旨

---

- ▶ IPv4の枯渇が、諸説あるにしろ**3年後くらいには現実のもの**となりそうな雰囲気となってきた。
- ▶ IPv4アドレスのアドレス確保やIPv6移行に関する政治的な動きは数多くある。
- ▶ 一方で、「技術的な観点から」、「オペレーターとして何か準備しておくことはないのだろうか？」

そこで

---

## 本日のお題

---

- ▶ パネラーの皆様の業務において、現在心配されていることをつまびらかにしていただく。
- ▶ それぞれの立場でどういう対策があるのかをご披露していただく。
- ▶ その上で、どういう問題に直面するかを明らかにして

それをネタに  
みんなで考えよう

---



# パネリスト

---

## ▶ モデレータ

▶ 近藤邦昭

サイバー大学 / 株式会社まほろば工房

## ▶ パネリスト

▶ 佐藤 晋

社団法人日本ネットワーク  
インフォメーションセンター

▶ 小山 海平

株式会社倉敷ケーブルテレビ

▶ 白畑 真

株式会社クラオンライン

▶ 岡田 雅也

NTTコミュニケーションズ株式会社

---

▶

## パネルの進め方

---

- ▶ 最初にネタ出しのために、JPNICで先ごろ発表になった、「IPv4アドレス在庫枯渇問題に関する検討報告書」について簡単にご説明いただきます。
- ▶ 次に各パネラーの皆様から、それぞれの立場での技術的課題や問題点と思われることについてご披露いただきます。
- ▶ これらご披露いただいた内容をもとに、今後オペレーターとしてどのような対策が必要かについて議論してまいります。



## 議論のフォーカス

---

- ▶ IPv4枯渇の議論は得てして政治的な話題に陥りがち。
- ▶ 本セッションでは、あえて「技術・対応策」にフォーカスしてディスカッション。
  - ▶ 政治的な部分については、「そういう問題がある」として深く突っ込まない。
  - ▶ コスト的な問題も大きいので、多少は考える。



全体として

---

60分  
一本勝負

